

証券コード:5401



新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

2014年度 2Q決算説明会

執行役員財務部長

宮本 勝弘

2014年10月30日

特に断りのない限り、本資料中の財務数値は連結数値

1. 2014年度上期実績・通期見通し

2. 中期経営計画の進捗状況

3. ご参考

1. 2014年度上期実績・通期見通し

2014年度上期実績・通期見通しの概況

需給環境

- 国内鋼材需要：消費税増税影響による需要減はあるものの、底堅い公共投資や設備投資の増加により、全体として堅調に推移するものと認識
- 輸出/国際市況：堅調な米国経済を背景に世界の鋼材需要は概ね順調に推移するものと想定。
国際市況については、中国での高生産の継続が懸念され注意が必要

当社の取組み

- 中期経営計画の完遂に向けた施策を引き続き強力に推進、最大限の経営努力を継続
- 防災リスク管理に関する全社的な取組みの強化を目的として、11/1付けで本社に「防災推進部」を設置する等、「防災」「エネルギー」等に関する組織体制を強化
- 鹿島、君津の一部コークス炉における想定以上の劣化に伴うコスト悪化への対応として、君津第4コークス炉の改修に加え、鹿島コークス炉のリフレッシュ工事を決定
- 2014年度通期経常利益は、名古屋コークス炉火災事故の影響等あるものの、国内を中心とした堅調な需要動向への着実な対応、コスト改善の継続等により、前回公表の連結経常利益4,000億円を目指す

上期決算概況・通期見通し

- 14年度上期経常利益 1,763億円(対見通し:+263億円)、当期利益 1,122億円(対見通し:+272億円)
- 14年度経常利益見通し 4,000億円(対前年度:+390億円)、当期利益 2,500億円(対前年度:+73億円)
- 第2四半期末の剰余金の配当は、既公表方針通り 2円/株(連結配当性向16%)

国内主要需要分野の活動水準推移

		FY13			FY14						差異			
		上期	下期	年度	*3 1Q	*3 2Q	*2 (上見)	*3 上期	*3 下期 見通し	*3 年度 見通し	13/下 → 14/上	14/上見 → 14/上	14/上 → 14/下見	13年 → 14年見
建設	住宅着工戸数 (万戸)	50	49	99	22	22	(42)	44	45	89	-5	+1	+1	-10
	非住宅着工 (万㎡)	2,915	2,712	5,627	1,398	1,420	(2,782)	2,818	2,864	5,682	+106	+36	+47	+55
	公共工事受注 ^{*1} (10億円)	4,042	4,129	8,171	2,196	1,856	(3,872)	4,052	3,552	7,604	-77	+180	-500	-568
自動車	完成車生産台数 (万台)	474	517	991	240	239	(482)	480	495	975	-37	-3	+16	-16
	完成車輸出台数 (万台)	235	228	463	109	122	(239)	231	244	475	+2	-8	+14	+12
	海外生産(8社) (万台)	790	846	1,637	427	415	/	842	/	/	-4	/	/	/
産業機器	大中型ショベル (千台)	38	42	80	19	18	(36)	37	34	71	-5	+1	-3	-9
	金属工作機械 (千ト)	154	190	344	108	94	(203)	202	202	404	+11	-1	+0	+59
造船	新造船起工 (万ゲロストン) (当社推定)	599	665	1,264	345	348	(694)	694	696	1,390	+29	+0	+2	+126

リグカウントの状況	CY08平均	CY09平均	CY10平均	CY11平均	CY12平均	CY13平均	直近
米国	1,879	1,089	1,546	1,875	1,919	1,761	1,927 (14/10/24)
深井戸(≧15,000ft)	283	249	249	395	324	326	370 (14/8)
北米・露・中を除く世界	1,079	997	1,094	1,167	1,234	1,296	1,323 (14/9)

(出所:各種統計資料・当社推定) *1 建設工事受注動態統計の公共工事受注額

*2 前回(7/31)公表値 *3 8月下旬見込み値

国内主要需要分野の鋼材消費推移

(単位:万ト)	FY13			FY14						差異			
	上期	下期	年度	*2 1Q	*2 2Q	*1 (上見)	*2 上期	*2 下期 見通し	*2 年度 見通し	13/下 → 14/上	14/上見 → 14/上	14/上 → 14/下見	13年 → 14年見
全国粗鋼生産量	5,582	5,571	11,152	2,767	2,788	(5,562)	5,556			-15	-6		
国内鋼材消費	3,171	3,336	6,507	1,594	1,598	(3,197)	3,193	3,278	6,471	-143	-5	+85	-36
製造業比率 (%)	62.8	62.7	62.7	63.2	62.8	(63.5)	63.0	62.2	62.6	+0.2	-0.6	-0.8	-0.2
普通鋼鋼材消費	2,516	2,668	5,184	1,270	1,270	(2,536)	2,540	2,625	5,165	-128	+4	+85	-18
建設	1,117	1,180	2,297	555	563	(1,103)	1,118	1,177	2,295	-62	+15	+59	-2
製造業	1,399	1,488	2,887	714	708	(1,433)	1,422	1,448	2,870	-66	-11	+27	-16
ウチ、造船	198	218	416	112	113	(225)	225	226	451	+7	+0	+1	+35
ウチ、自動車	564	590	1,154	277	278	(562)	555	573	1,128	-35	-7	+18	-26
ウチ、産業機械	245	265	510	130	124	(255)	253	243	497	-11	-2	-10	-13
ウチ、電気機械	153	162	315	80	78	(158)	159	158	317	-4	+1	-0	+1
特殊鋼鋼材消費	655	668	1,323	325	328	(661)	653	653	1,306	-15	-8	-0	-17
鋼材輸入	277	378	655	176									
鋼材輸出	2,028	1,887	3,915	949									

(出所:各種統計資料・当社推定) *1 前回(7/31)公表値 *2 8月下旬見込み値

当社製鉄事業諸元

(単位:万ト)	FY13			FY14						差異			
	上期	下期	年度	1Q	2Q	*2 (上見)	上期	下期 見通し	年度 見通し	13/下 → 14/上	14/上見 → 14/上	14/上 → 14/下見	13年 → 14年見
出銑量 *1	2,277	2,203	4,480	1,105	1,160	(2,300)	2,264	2,330	4,590	+61	-36	+66	+110
粗鋼生産量(連結)	2,427	2,389	4,816	1,186	1,216	(2,430)	2,402	2,460	4,860	+13	-28	+58	+44
粗鋼生産量(単独)	2,302	2,264	4,567	1,129	1,159	(2,320)	2,288	2,320	4,610	+24	-32	+32	+43
鋼材出荷量	2,097	2,105	4,202	1,043	1,068	(2,130)	2,111	2,180	4,290	+6	-19	+69	+88
シームレス出荷量	58	62	120	30	29	(62)	58	60	118	-4	-4	+2	-2
鋼材平均価格 (千円/ト)	84.4	87.6	86.0	87.6	86.0	(86.0)	86.8	85.0	86.0	-0.8	+0.8	-1.8	+0.0
鋼材輸出比率(% [金額ベース])	48	45	46	46	47	(46)	46	47	47	+1	+0	+1	+1
為替レート(¥/\$)	98	102	100	102	103	(102)	103	107	105	1円安	1円安	4円安	5円安

*1 北海製鉄・日鉄住金鋼鉄和歌山含み *2 前回(7/31)公表値

2014年度上期実績・通期見通し

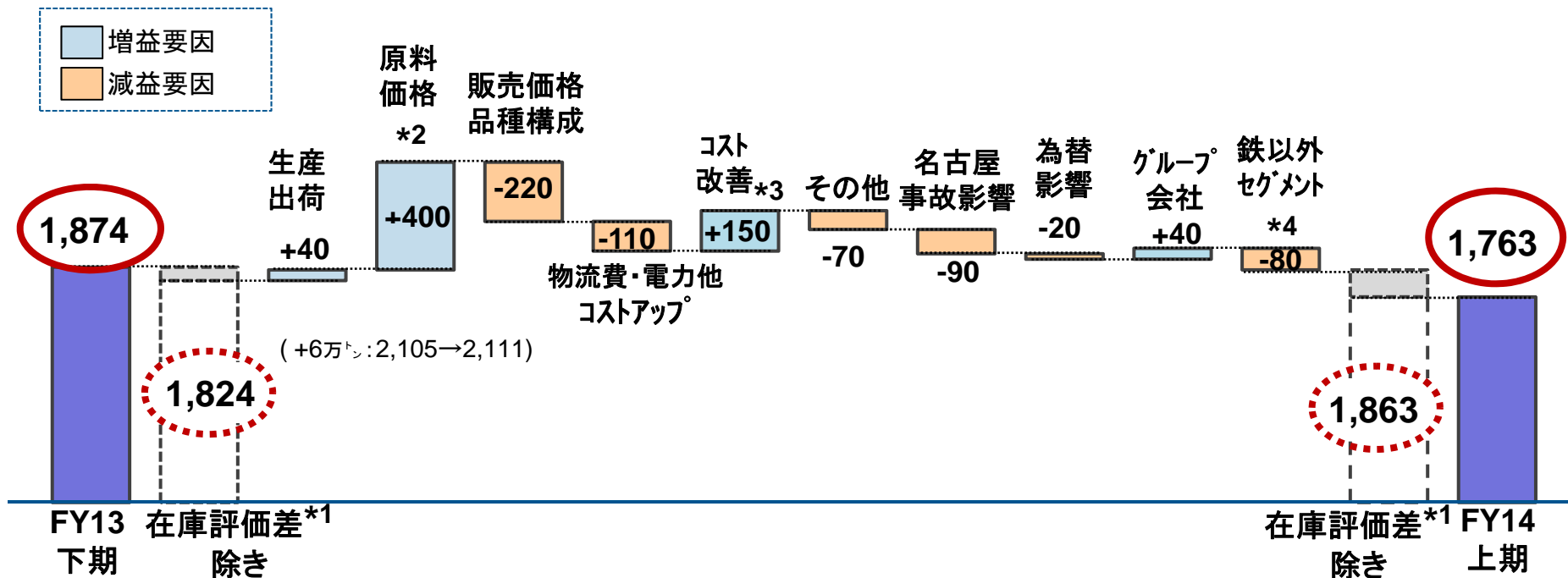
(単位:億円)	FY13			FY14						差異			
	上期	下期	年度	1Q	2Q	*1 (上見)	上期	下期 見通し	年度 見通し	13/下 → 14/上	14/上見 → 14/上	14/上 → 14/下見	13年 → 14年見
売上高	26,745	28,415	55,161	13,614	14,170	(27,500)	27,784	28,716	56,500	-631	+284	+932	+1,339
営業利益	1,392	1,590	2,983	596	758	/	1,355	/	/	-235	/	/	/
経常利益	1,736	1,874	3,610	743	1,020	(1,500)	1,763	2,237	4,000	-111	+263	+474	+390
特別損益	165	215	380	-	-49	/	-49	/	/	-264	/	/	/
当期利益	1,155	1,271	2,427	483	639	(850)	1,122	1,378	2,500	-149	+272	+256	+73
[一株当り 当期利益]	[12.7]	[13.9]	[26.7]	[5.3]	[7.0]	[9.3]	[12.3]	[15.1]	[27.4]	[-1.6]	[+3.0]	[+2.8]	[+0.7]
EBITDA	3,007	3,294	6,302	1,358	1,542	/	2,901	/	/	-393	/	/	/
EBITDA / Sales	11.2%	11.6%	11.4%	10.0%	10.9%	/	10.4%	/	/	-1.2%	/	/	/
ROS	6.5%	6.6%	6.5%	5.5%	7.2%	(5.5%)	6.3%	7.8%	7.1%	-0.3%	0.8%	1.5%	0.6%
ROE	9.4%	9.8%	9.6%	7.2%	9.2%	/	8.2%	/	/	-1.6%	/	/	/

*1 前回(7/31)公表値

経常損益分析 (13/下期→14/上期)

(単位:億円)	FY13下期 [A]	FY14上期 [B]	増減 [A→B]
経常利益	1,874	1,763	-111
製鉄	1,630	1,591	-39
鉄以外セグメント	257	176	-81
調整額	-13	-5	+8

- *1 在庫評価差
FY13/下: +50 → FY14/上: -100
- *2 キャリーオーバー影響含む
- *3 統合効果+100含む
- *4 エンジニアリング-92(季節差)、化学+13、
新素材+4、システムソリューション-7



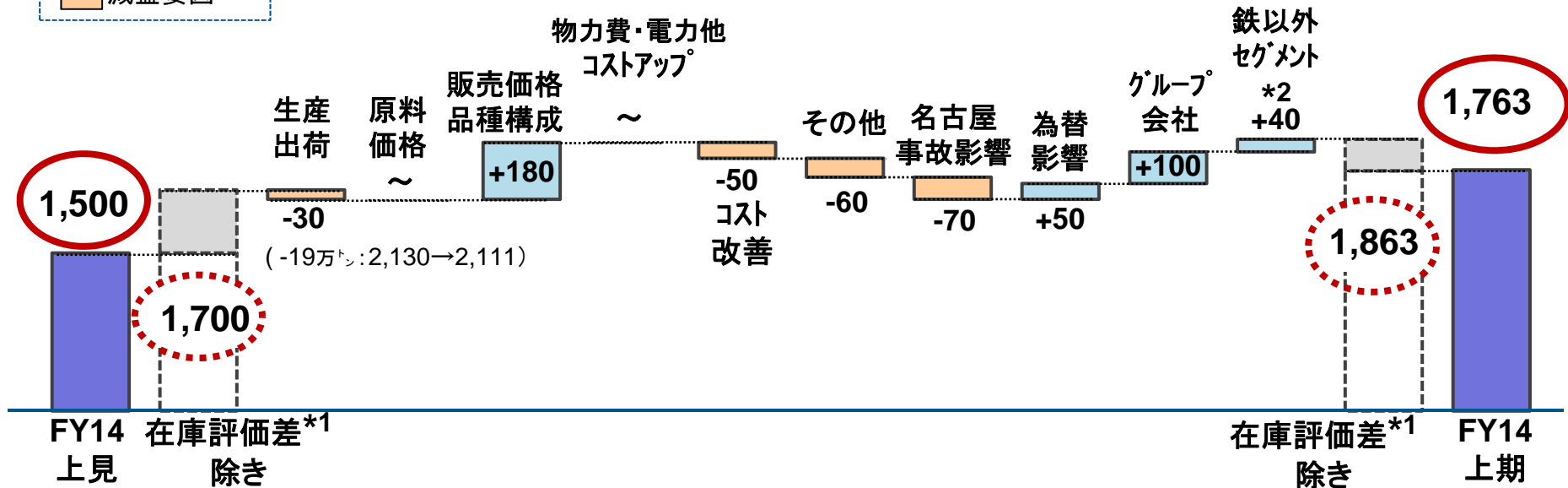
経常損益分析 (14上期見通し→14/上期)

(単位:億円)	FY14上期見通し (前回7/31) [A]	FY14上期 [B]	増減 [A→B]
経常利益	1,500	1,763	+263
製鉄	1,360	1,591	+231
鉄以外セグメント	135	176	+41
調整額	5	-5	-10

*1 在庫評価差
FY14/上見:-200 → FY14/上:-100

*2 エンジニアリング-2、化学+13、
新素材+6、システムソリューション+22

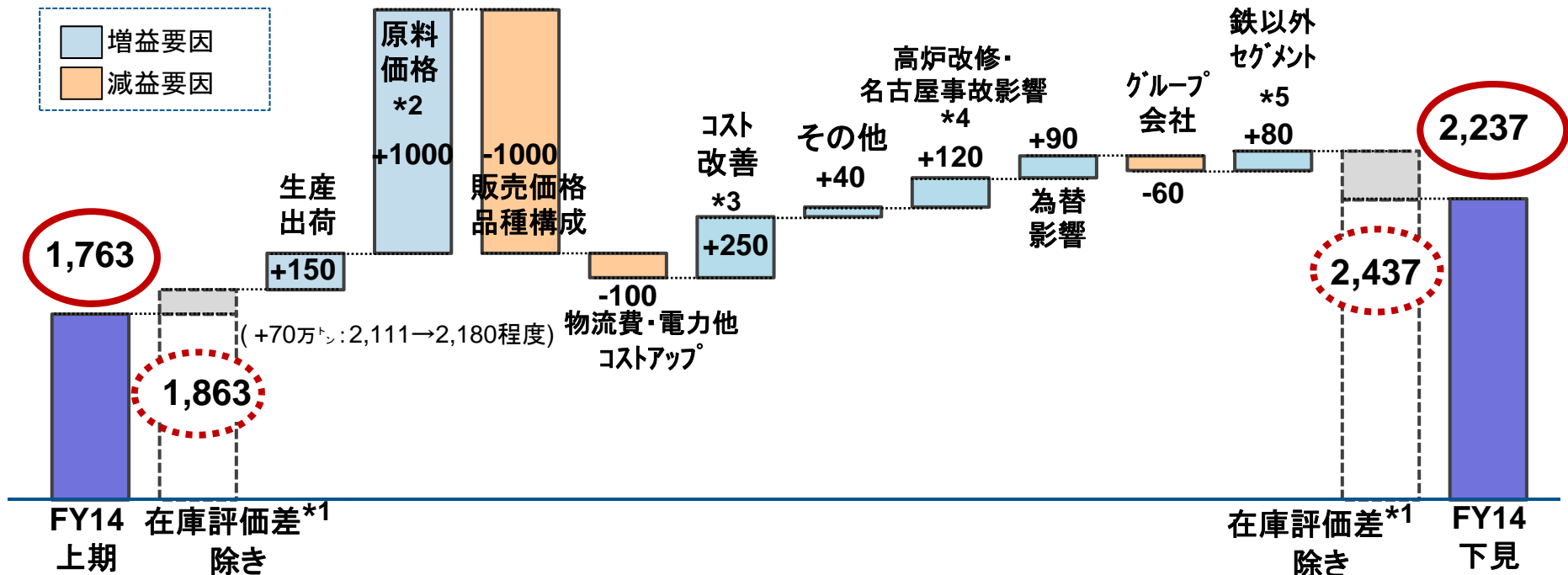
■ 増益要因
■ 減益要因



経常損益分析 (14/上期→14/下期見通し)

(単位:億円)	FY14上期 [A]	FY14下期 見通し [B]	増減 [A→B]
経常利益	1,763	2,237	+474
製鉄	1,591	1,959	+368
鉄以外セグメント	176	254	+78
調整額	-5	25	+30

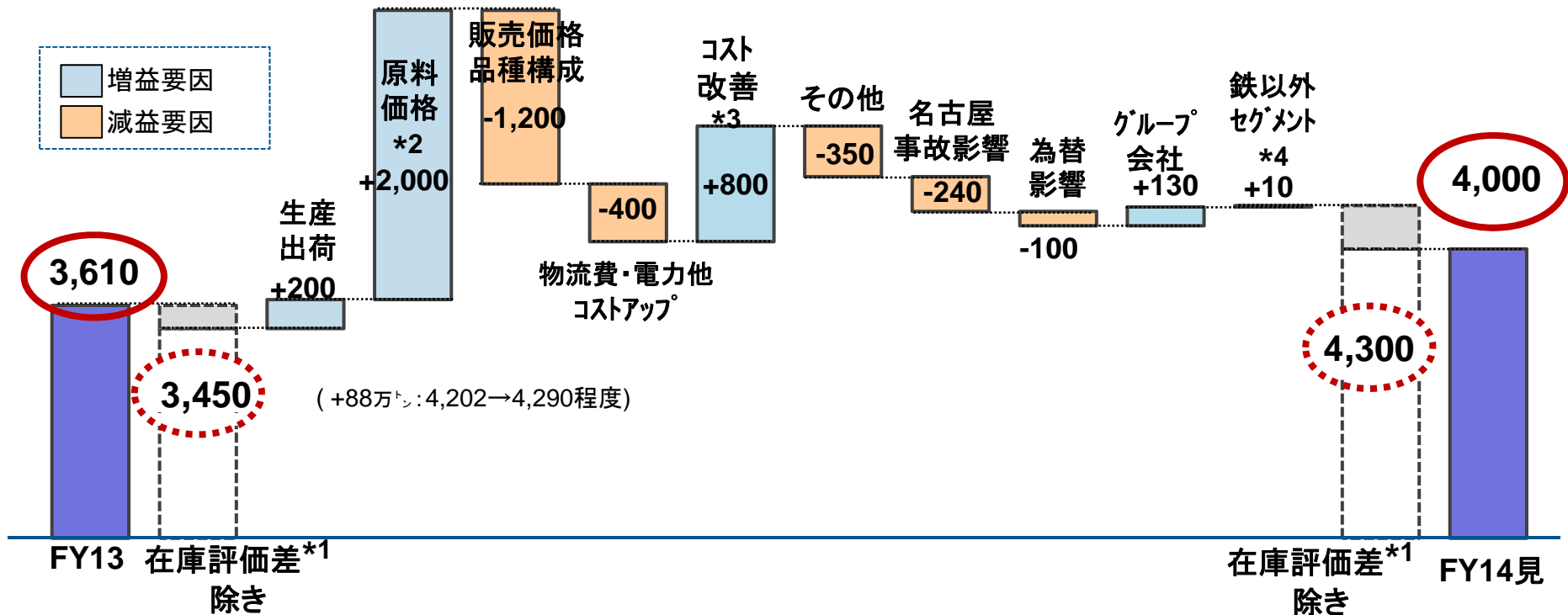
- *1 在庫評価差
FY14/上:-100 → FY14/下:-200
- *2 キャリーオーバー影響含む
- *3 統合効果+140含む
- *4 高炉改修影響:+100(FY14/上-100→FY14/下~)、
名古屋事故影響:+20(FY14/上-170→FY14/下-150)
- *5 エンジニアリング+70(季節差)、化学~、
新素材~、システムソリューション+10



経常損益分析 (13→14見通し)

(単位:億円)	FY13 [A]	FY14 見通し [B]	増減 [A→B]
経常利益	3,610	4,000	+390
製鉄	3,212	3,550	+338
鉄以外セグメント	419	430	+11
調整額	-21	20	+41

- *1 在庫評価差
FY13:+160 → FY14:-300
- *2 キャリーオーバー影響含む
- *3 統合効果+400含む
- *4 エンジニアリング-10、化学-10、
新素材+5、システムソリューション+25



製鉄以外セグメント概況

売上高・経常利益推移 (単位:億円)
(4セグメント合計)



2014年度 経常損益動向見通し (前年対比)

エンジニアリング事業	↓ 減益	:コスト削減・収益改善の推進も、プロジェクト構成差等により減益
化学事業	↓ 減益	:化学品市況下落の影響によるマージン悪化 他
システムソリューション事業	↑ 増益	:販売管理費増加も、業務ソリューション・ビジネスサービスを中心に増益
新素材事業	↑ 増益	:金ワイヤの銅化で減収も、コスト改善努力の推進により増益

(単位:億円)

エンジニアリング事業	2013年度		2014年度見	
	うち上期		うち上期	
売上高	1,343	3,141	1,553	3,200
経常利益	36	177	48	165

化学事業	2013年度		2014年度見	
	うち上期		うち上期	
売上高	1,150	2,301	1,122	2,300
経常利益	70	100	43	90

システムソリューション事業	2013年度		2014年度見	
	うち上期		うち上期	
売上高	814	1,798	948	1,950
経常利益	48	127	72	155

新素材事業	2013年度		2014年度見	
	うち上期		うち上期	
売上高	192	372	182	360
経常利益	6	13	11	20

貸借対照表

(億円) 2014/3月末

流動資産 22,733	その他負債 15,479
固定資産 48,089	有利子負債 22,963
	自己資本 26,836
	5,543

少数株主持分

(億円) 2014/9月末

流動資産 22,423	その他負債 16,376
固定資産 48,469	有利子負債 20,779
	自己資本 28,169
	5,568

少数株主持分

	14/3	14/9	増減
総資産 (億円)	70,822	70,892	+70
有利子負債 (億円)	22,963	20,779	-2,183
自己資本 (億円)	26,836	28,169	+1,332
D/Eレシオ (倍)	0.86	0.74	-0.12

剰余金の配当方針(第2四半期末)について

当第2四半期末の剰余金の配当につきましては、既公表の配当方針に従い、1株につき2円(連結配当性向16%)とさせていただくことと致しました。

なお、期末の配当方針につきましては、第3四半期決算発表時に判断し、公表する予定です。

< 利益配分に関する基本方針 >

当社は、業績に応じた利益の配分を基本として、企業価値向上に向けた投資等に必要な資金所要、先行きの業績見通し、連結及び単独の財務体質等を勘案しつつ、第2四半期末及び期末の剰余金の配当を実施する方針と致しております。

「業績に応じた利益配分」の指標としては、連結配当性向年間20%程度を基準と致します。

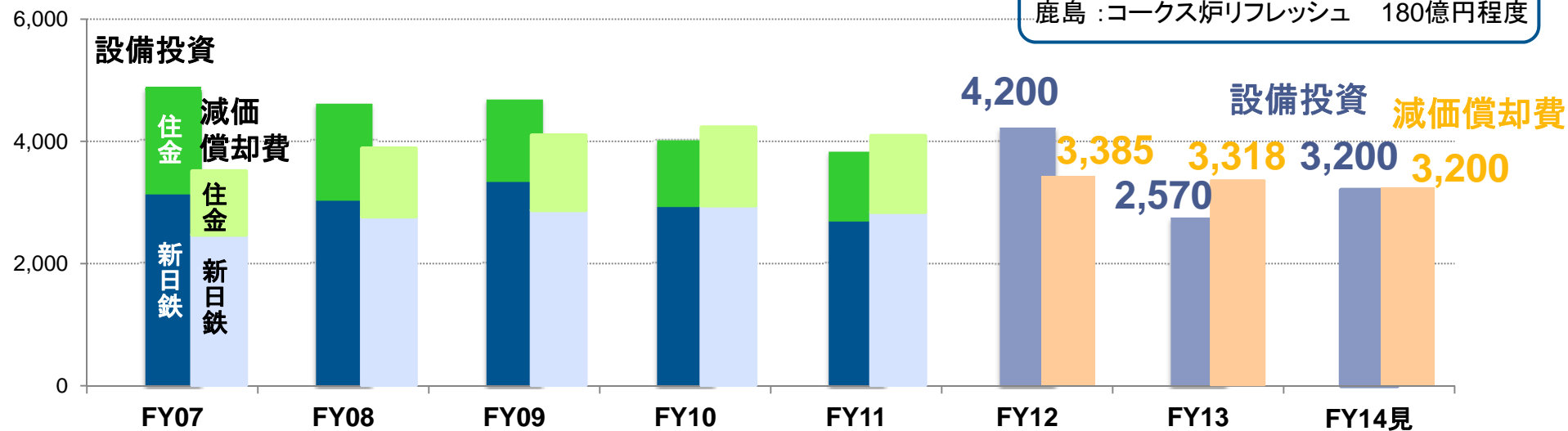
設備投資・減価償却費

(単位:億円)

新日鐵住金 (上段:新日鉄 下段:住金)	FY07	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13	FY14 見通し
設備投資額 <工事ベース>	4,900 (3,100) (1,788)	4,600 (3,000) (1,591)	4,650 (3,300) (1,366)	4,000 (2,900) (1,099)	3,800 (2,650) (1,157)	4,200	2,570	3,200
減価償却費	3,465 (2,440) (1,025)	3,835 (2,737) (1,098)	4,048 (2,840) (1,208)	4,177 (2,915) (1,262)	4,038 (2,809) (1,229)	3,385	3,318	3,200

主要設備投資案件

君津 : 第4コークス炉改修 290億円程度
鹿島 : コークス炉リフレッシュ 180億円程度



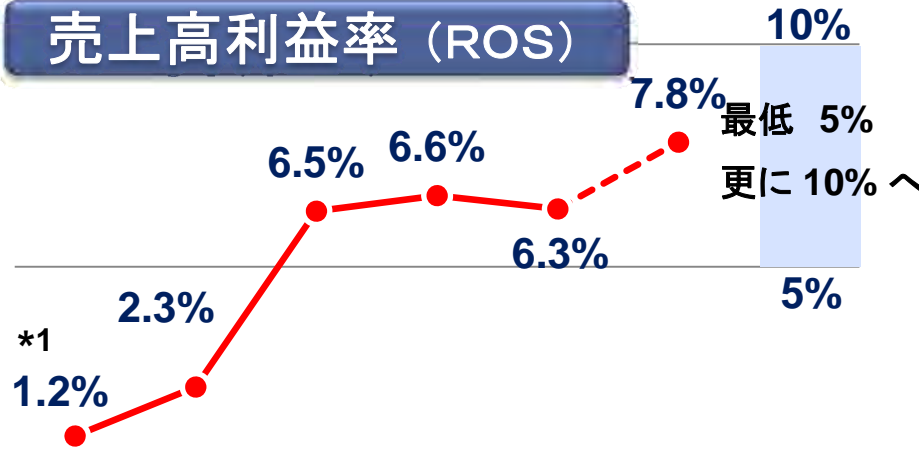
※ 設備投資額 : FY07~12の新日鐵住金は、新日鉄と住金の合算値を50億円単位で四捨五入

2. 中期経営計画の進捗状況

中期経営計画の進捗状況

① 定量的指標の推移

売上高利益率 (ROS)



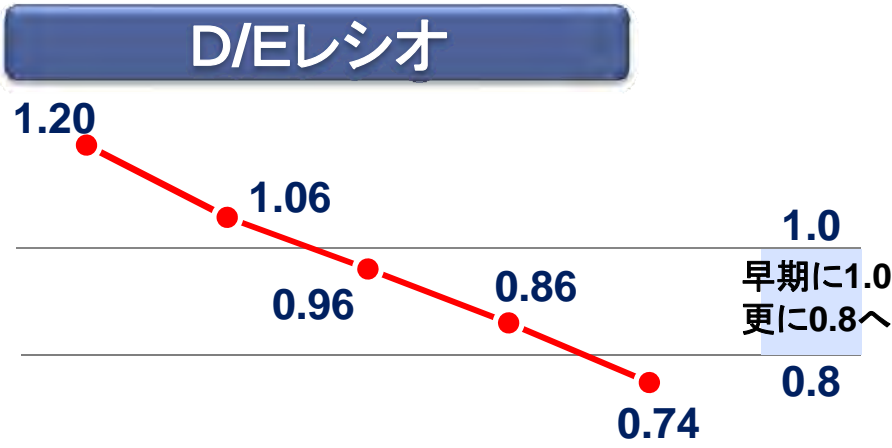
上期	下期	上期	下期	上期	下見	目標
12年度	13年度	13年度	14年度	14年度		

資産圧縮【億円】



上期	下期	上期	下期	上期	目標
12年度	13年度	13年度	14年度	14年度	

D/Eレシオ



3Q	下期	上期	下期	上期	目標
12年度	13年度	13年度	14年度	14年度	

統合効果【億円】



上期	下期	上期	下期	上期	下見	目標
12年度	13年度	13年度	14年度	14年度		

*1 FY12上期：旧両社合算ベース

インドネシアにおける自動車鋼板JVの最終契約を締結

クラカタウ社とのJV: 現地で高まる高級鋼板ニーズへ対応

CGL

連続焼鈍 AND 溶融亜鉛めっき



焼鈍後、全ての材料をめっき処理

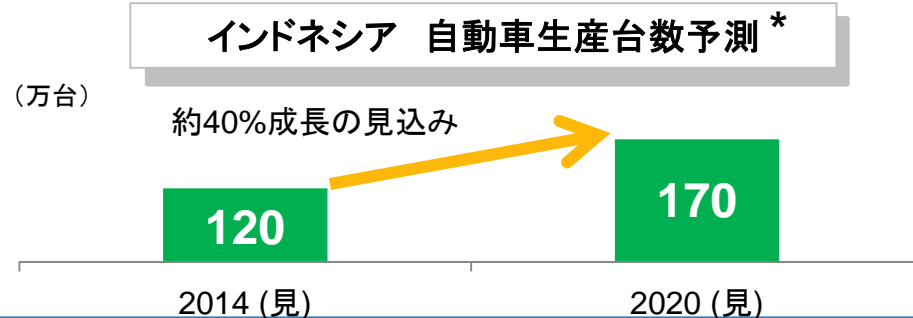
GAPL

連続焼鈍 AND 溶融亜鉛めっき
または
連続焼鈍 **のみ** On/off
が可能



めっき処理の省略が可能

- 会社名: **KNSS** (PT Krakatau Nippon Steel Sumikin)
- 出資比率: 当社 **80%**、クラカタウ社 **20%**
- 事業内容: 自動車用冷延鋼板、及び
(合金化)溶融亜鉛めっき鋼板の製造・販売
- 設備投資額: 約 **300** 百万米ドル
- 主要設備: GAPL (Galvanizing, Annealing & Processing Line)
- 能力: **48** 万ト/年
- 営業運転開始: **2017** 年半ば(予定)

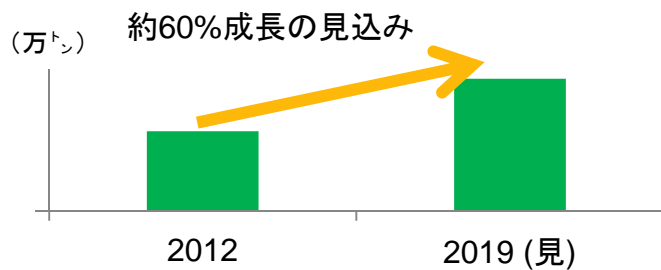


* 当社推定

大阪製鐵がインドネシアにおける建材JVの最終契約を締結

クラカタウ社とのJV: 成長マーケットでの現地生産体制を確立

インドネシア 建材主要品種需要予測 *
















* 当社推定

クラカタウ スチール

- 設立: 1971年
(インドネシア政府が株式の80%を保有)
- 事業内容: 薄板・形鋼・棒線・鋼管等の鉄鋼製品の製造・販売
- 鋼材販売量: 約 240万トン/年 (2013年実績)

- 会社名: KOS (PT Krakatau Osaka Steel)
- 出資比率: 大阪製鐵(*) 80%、クラカタウ社 20%
(*) 当社連結子会社(当社持分 66.3%)
- 事業内容: 中小形形鋼、鉄筋棒鋼及び
平鋼の製造・販売
- 総投資額: 約 200 百万米ドル
- 設備仕様: 中小形形鋼、鉄筋棒鋼及び
平鋼用コンバインドミル
- 販売数量: 約 50 万トン/年
- 営業運転開始: 2016 年中(予定)

社名(%: 当社グループ出資比率)		投資額 *	主要設備	製造能力	FY13	FY14	FY15
自動車用鋼板等	 AM/NS Calvert 50% (アメリカ) (ArcelorMittal とのJV)	約 15.5億\$ (買収金額総額)	熱延、冷延 CGL等	530万トン/年 - 熱延	★ 14/2		
	 TENIGAL 49% (メキシコ) (Ternium とのJV)	約 300百万\$	CGL	40万トン/年	★ 13/8		
	 JCAPCPL 49% (インド) (TATA とのJV)	約 400億円	CAPL	60万トン/年		★ 14/5	
	 KNSS 80% (インドネシア) (PTKSとのJV) 	約 300百万\$	GAPL	48万トン/年			FY17 稼働開始
	 NSGT 100% (タイ)	約 300百万\$	CGL	36万トン/年	★ 13/10		
	 ICI 80% (アメリカ) (No4 鍛造プレスライン新設)	約 46百万\$	No4 鍛造 プレスライン	約 130万本/年	鍛造プレス能力 (270万本→400万本)		★ FY15稼働開始
	 BNA 50% (中国) (宝鋼とのJV)	約 11 億元	No4 CGL 新設	42万トン/年	CGL能力 (125万トン→167万トン)		★ FY15稼働開始
	 NSCh 42% (中国) (NBC中国の能力増強)	約 32億円	酸洗・伸線・ 熱処理	42千トン/年			★ FY15稼働開始
建材	 NSBS 50% (シンガポール他) (BlueScopeとのJV)	554百万\$ (グループ総額)	CGL等	140万トン/年 - CGL	★ 13/3 JV設立		
	 CSVC 30% (ベトナム) (CSC とのJV)	約 1,150百万\$ (JV 合計額)	CDCM	120万トン/年	★ 13/4		
	 KOS 80% (インドネシア) (PTKS とのJV) 	約 200百万\$	中小形形鋼、 鉄筋棒鋼、平鋼	約 50万トン/年			FY16 稼働開始

* 合併契約締結時、又は意思決定時における公表数値。

事業基盤強化に向け、最適生産体制の構築を推進中

◆当社における取組み：設備休止等スケジュール

品種	製鉄所	休止/稼働延期	ライン	FY13	FY14	FY15
上工程	君津	休止	第3高炉	4Q		
			第5連铸機	2Q完了		
	和歌山	稼働延期	第2高炉			
薄板	鹿島	休止	No.2 酸洗、No.1 冷延、No.1 連続焼鈍、バッチ焼鈍、No.1 溶融亜鉛めっき、No.2 電気亜鉛めっき	4Q		
	和歌山	休止	No.3 酸洗、No.1 冷延、溶融めっき、連続焼鈍(電磁鋼板)	1Q完了		
	名古屋	休止	No.4 溶融亜鉛めっき	1Q完了		
			電気亜鉛めっき	4Q		
君津	休止	No.1 連続焼鈍	4Q			
鋼管	君津	休止	鍛接鋼管	4Q完了		

◆子会社における取組み：設備休止等スケジュール

会社名	内容	FY13	FY14	FY15
日鉄住金鋼管 (電縫管事業最適化)	和歌山製造所24インチミル休止	3Q		
	堺製造所の休止(15年8月末)、川崎製造所の休止(15年11月末)	2Q~3Q		
日鉄住金鋼板 (薄板鋼板事業最適化)	西日本製造所(尼崎地区)の酸洗・冷延設備休止	4Q完了		
	船橋製造所の酸洗・冷延設備休止	1Q完了		

3. ご参考

世界の経済成長率推移

<2014年10月7日IMF改定値>

前回 (2014.7.24)

	CY07	CY08	CY09	CY10	CY11	CY12	CY13	CY14 見通し	CY15 見通し
世界合計	5.2	3.0	-0.5	5.3	3.9	3.4	(3.2) 3.3	(3.4) 3.3	(4.0) 3.8
先進諸国	2.7	0.5	-3.4	3.2	1.7	1.2	(1.3) 1.4	(1.8) 1.8	(2.4) 2.3
米国	2.1	0.4	-2.6	3.0	1.8	2.3	(1.9) 2.2	(1.7) 2.2	(3.0) 3.1
欧州	2.7	0.6	-4.1	1.9	1.5	-0.7	(-0.4) -0.4	(1.1) 0.8	(1.5) 1.3
日本	2.3	-1.2	-6.3	4.4	-0.6	1.5	(1.5) 1.5	(1.6) 0.9	(1.1) 0.8
新興諸国	8.3	6.1	2.7	7.5	6.2	5.1	(4.7) 4.7	(4.6) 4.4	(5.2) 5.0
中国	13.0	9.6	9.2	10.4	9.3	7.7	(7.7) 7.7	(7.4) 7.4	(7.1) 7.1
インド	9.4	7.3	6.8	10.6	6.3	4.7	(5.0) 5.0	(5.4) 5.6	(6.4) 6.4
ASEAN5*	6.3	4.7	1.7	7.0	4.5	6.2	(5.2) 5.2	(4.6) 4.7	(5.6) 5.4
ロシア	8.1	5.6	-7.8	4.3	4.3	3.4	(1.3) 1.3	(0.2) 0.2	(1.0) 0.5
ブラジル	5.7	5.1	-0.6	7.5	2.7	1.0	(2.3) 2.5	(1.3) 0.3	(2.0) 1.4

(出所: IMF)

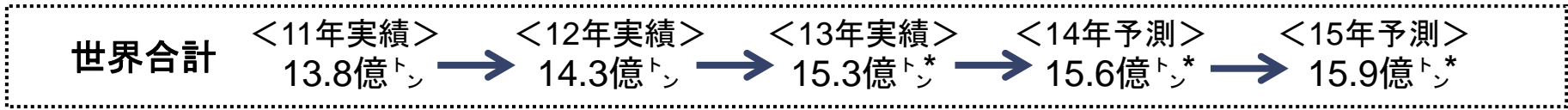
* ASEAN 5 : タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム



新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

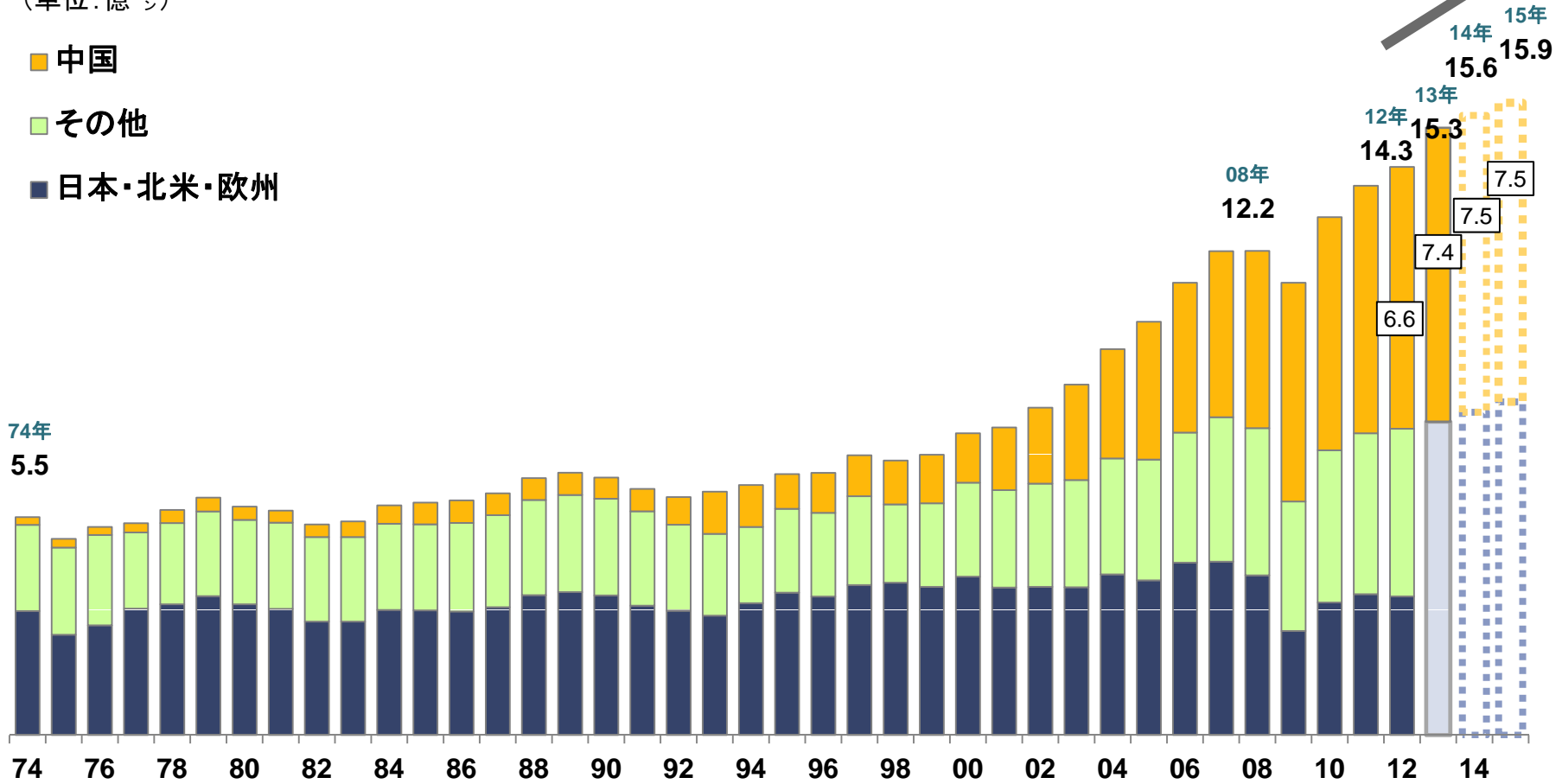
世界の鉄鋼需要推移(鋼材見掛消費)



(単位: 億トン)

- 中国
- その他
- 日本・北米・欧州

'13年以降 約 **+2~3** %/年



(出所: World Steel Association) *13年実績、14~15年予測(14年10月World Steel Association 発表)



世界月別粗鋼生産量

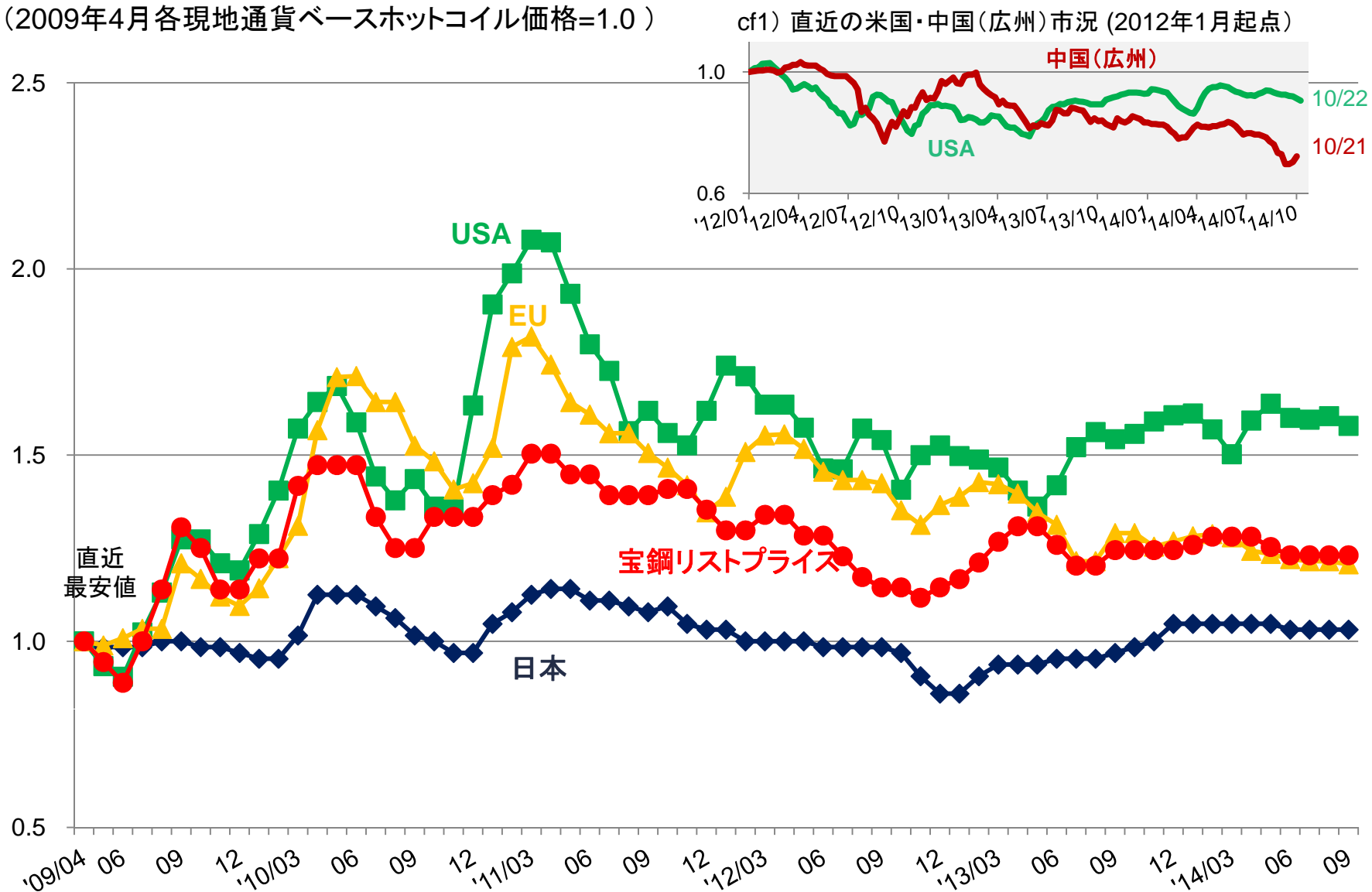
(百万トン)	CY13 [A]	CY14						CY14 年率換算 [C] (B*12/9)	差異 (A → C)
		1-6	7	8	9	7-9	1-9 [B]		
世界計* (前年同期比)	1,582.5 (+4.0%)	820.5 (+3.8%)	137.1 (+3.3%)	135.2 (+3.1%)	138.0 (+4.2%)	410.3 (+3.5%)	1,230.8 (+3.7%)	1,641.0	+58.5 (3.7%)
日本 (前年同期比)	110.6 (+3.1%)	55.2 (+1.0%)	9.3 (+0.0%)	9.3 (+2.2%)	9.2 (-0.4%)	27.9 (+0.6%)	83.1 (+0.8%)	110.8	+0.3 (0.2%)
韓国 (前年同期比)	66.0 (-4.4%)	36.1 (+9.1%)	5.9 (+6.2%)	5.6 (+14.4%)	5.7 (+10.3%)	17.2 (+10.1%)	53.3 (+9.5%)	71.0	+5.0 (7.6%)
米国	87.0	43.6	7.7	7.8	7.3	22.7	66.3	88.4	+1.5
EU28	165.8	87.6	13.9	12.1	14.1	40.1	127.7	170.3	+4.5
ロシア	69.4	35.2	6.1	6.2	5.9	18.2	53.4	71.2	+1.8
ブラジル	34.2	16.7	2.9	2.9	2.9	8.7	25.5	34.0	-0.2
インド	81.2	41.6	6.9	7.0	6.8	20.8	62.4	83.2	+2.0
中国 (前年同期比)	779.0 (+8.7%)	409.6 (+5.3%)	68.3 (+4.4%)	68.9 (+4.0%)	71.2 (+8.8%)	208.4 (+5.7%)	618.0 (+5.4%)	824.0	+45.0 (5.8%)

(出所 : World Steel Association)

* 世界65カ国の合計値

世界各国ホットコイル市況推移

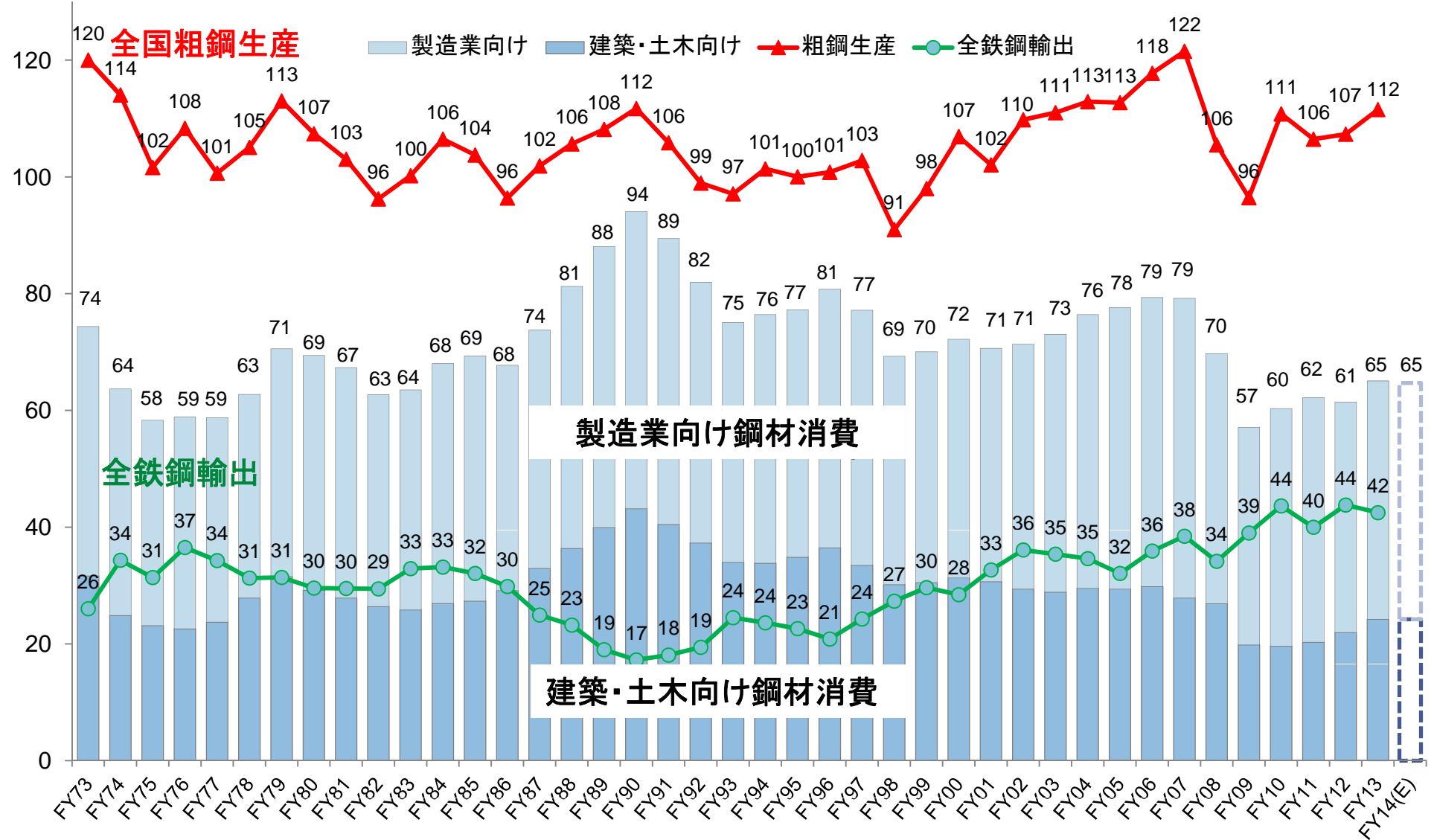
(2009年4月各現地通貨ベースホットコイル価格=1.0)



(出所: 日本鉄鋼連盟等データより当社作成)

国内鋼材消費推移

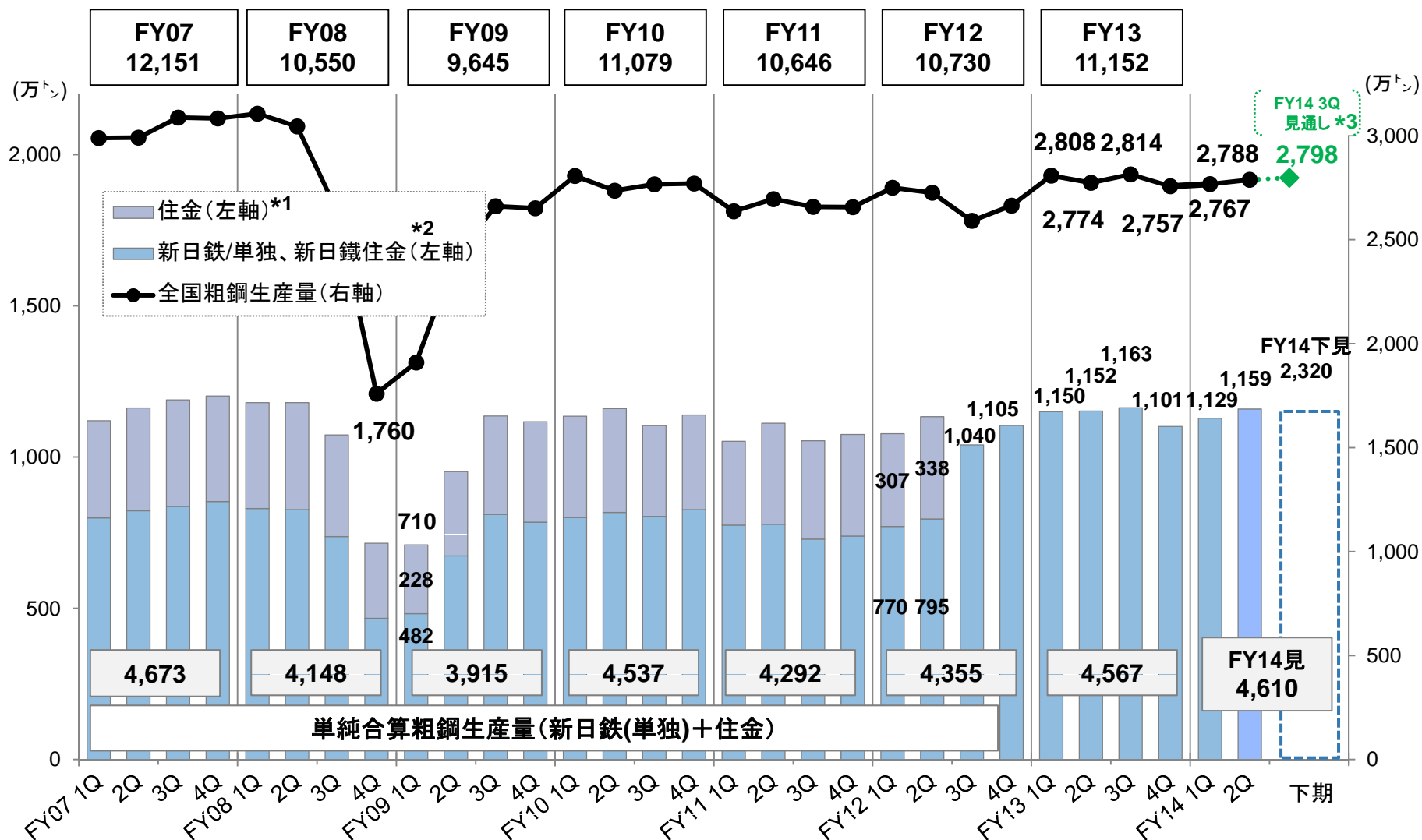
(百万ト)



(出所:各種統計資料・当社推定)

国内粗鋼生産量 四半期別推移

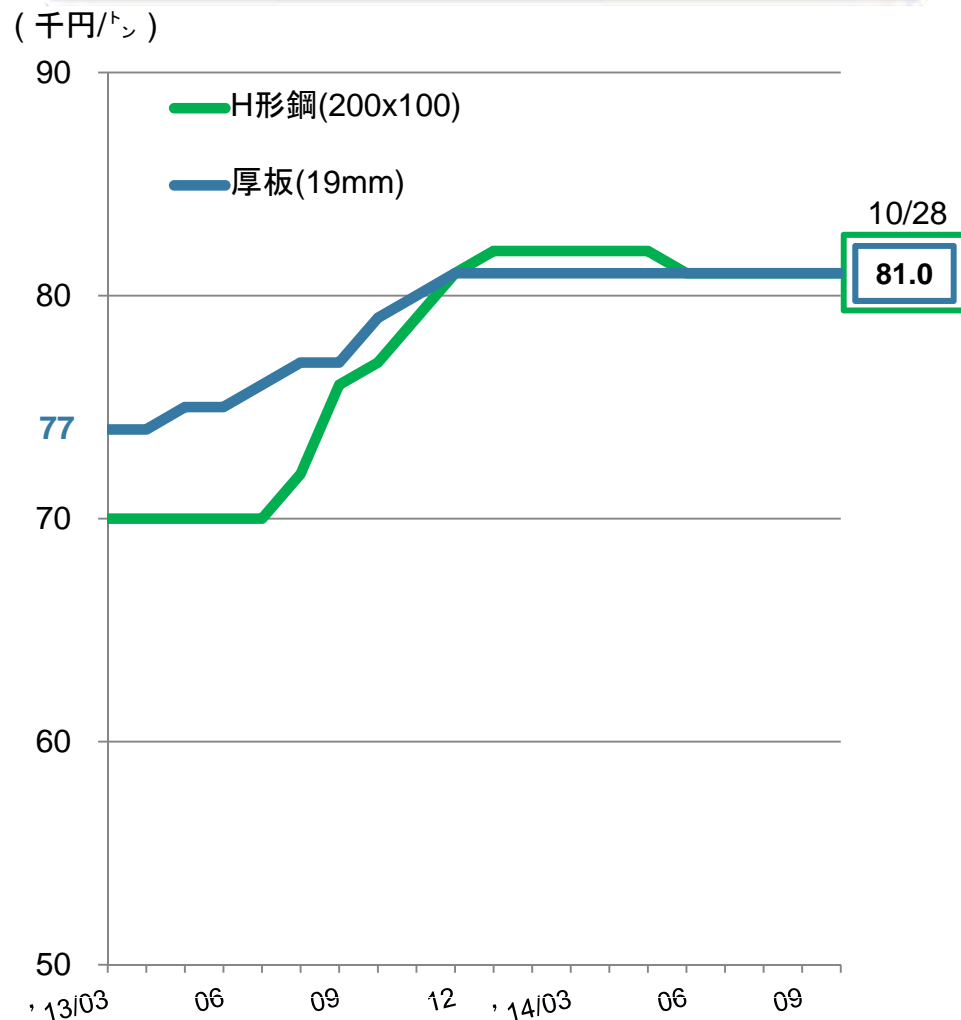
全国粗鋼生産量



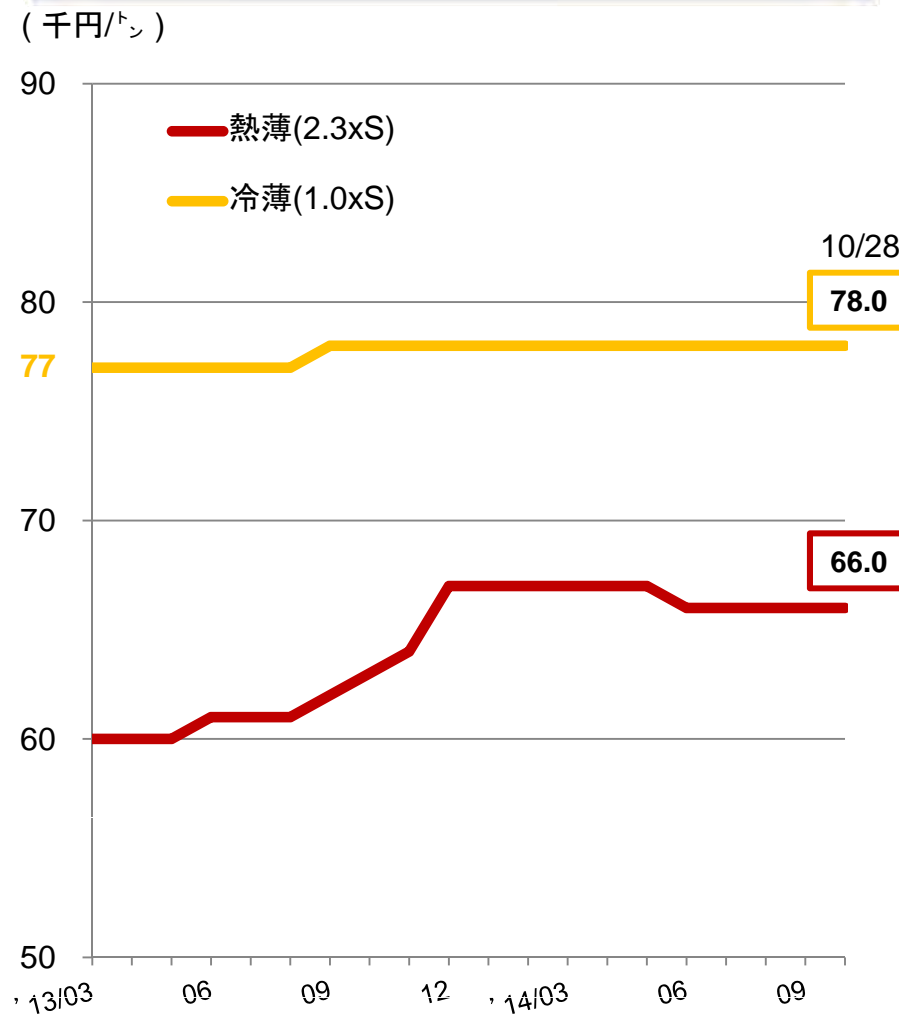
*1 住金: 旧住金小倉・住金直江津・住金鋼鉄和歌山含み *2 新日鐵住金: 日鐵住金鋼鉄和歌山含み

*3 経済産業省発表 FY14 3Q鋼材需要見通し(2014/10/2)

厚板・H形鋼



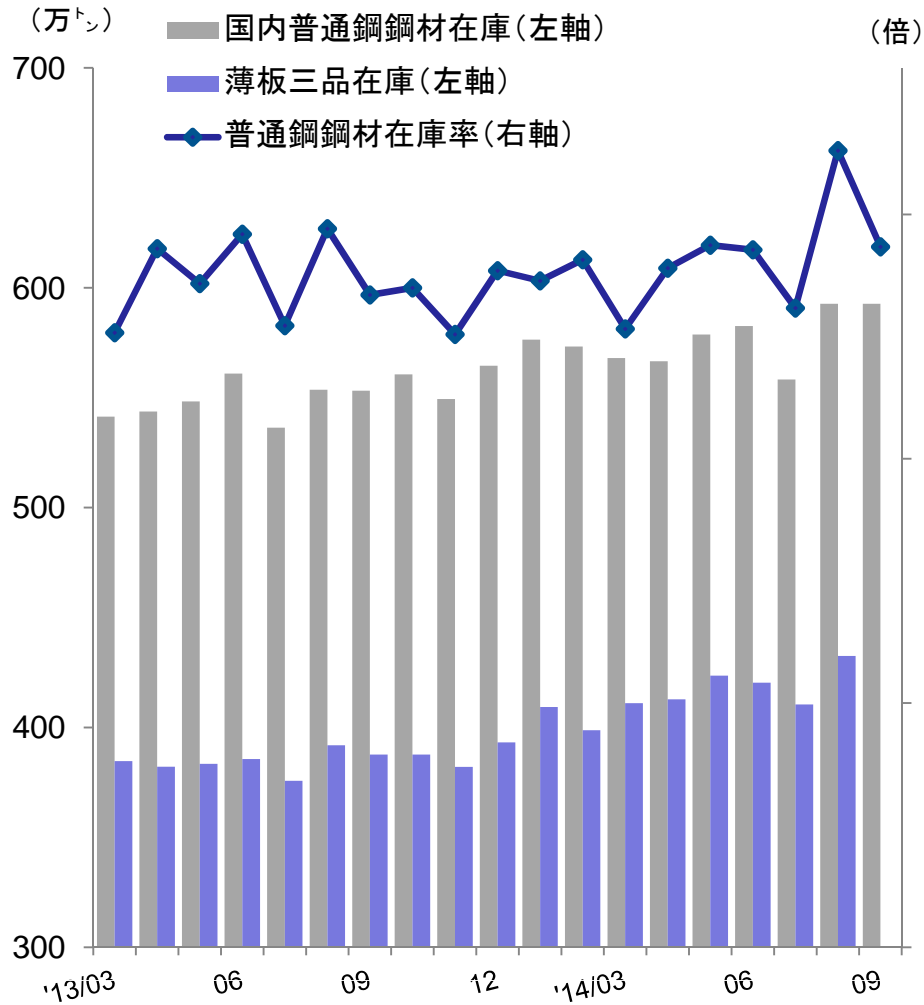
熱延・冷延



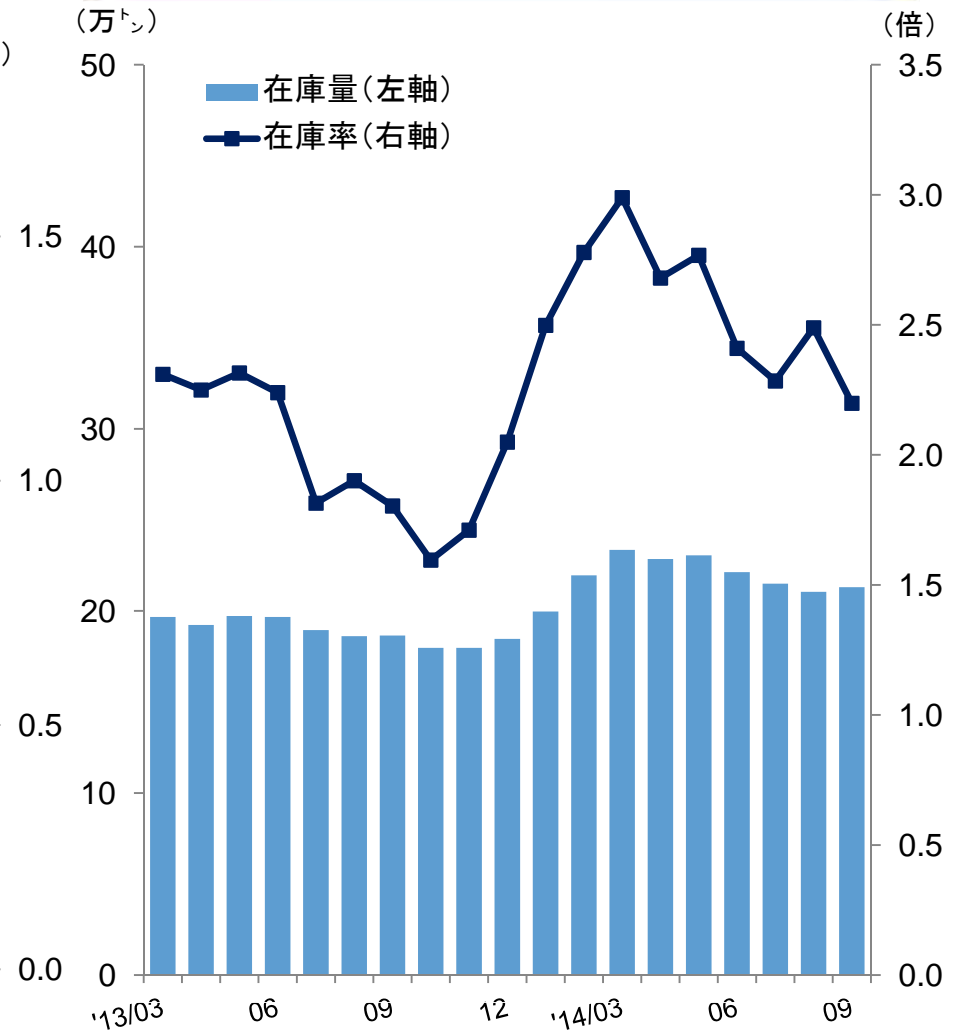
(出所: 鉄鋼新聞・月末・東京安値、問屋間仲間相場価格)

国内鋼材在庫推移

普通鋼鋼材・薄板三品在庫



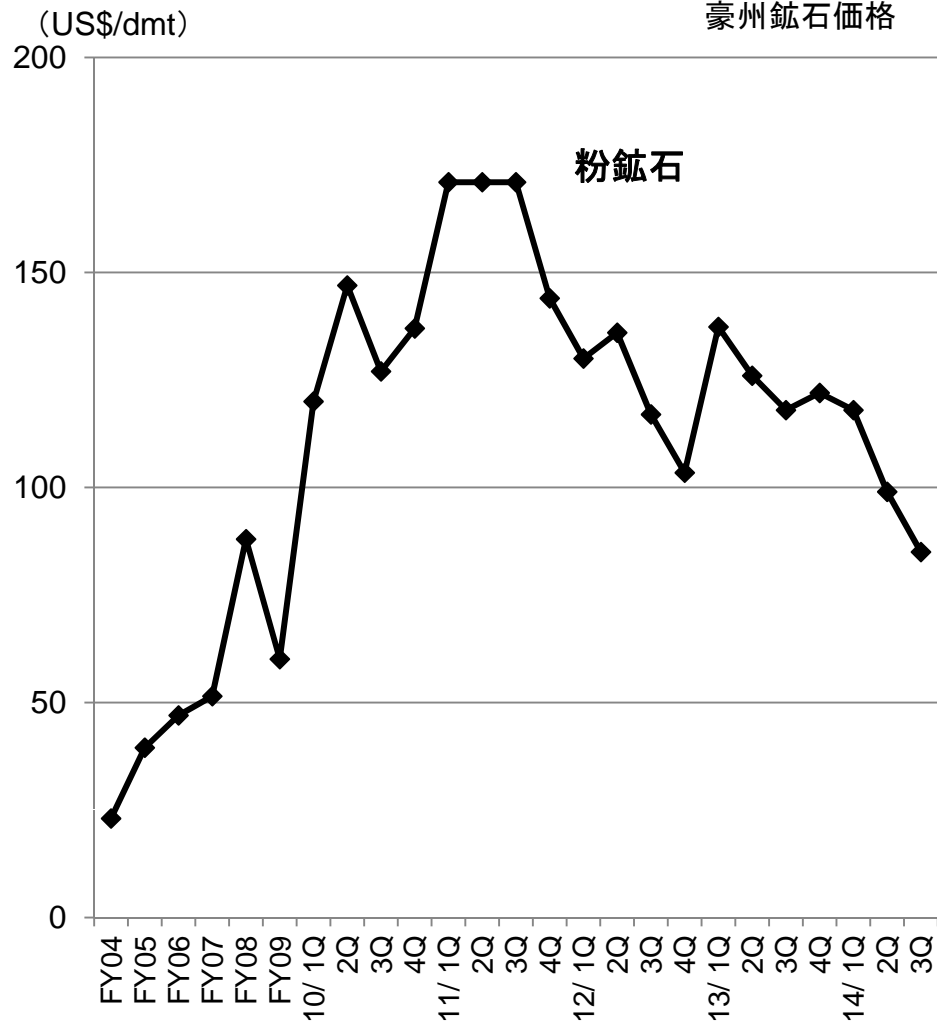
ときわ会(H形鋼)在庫



(出所:日本鉄鋼連盟)

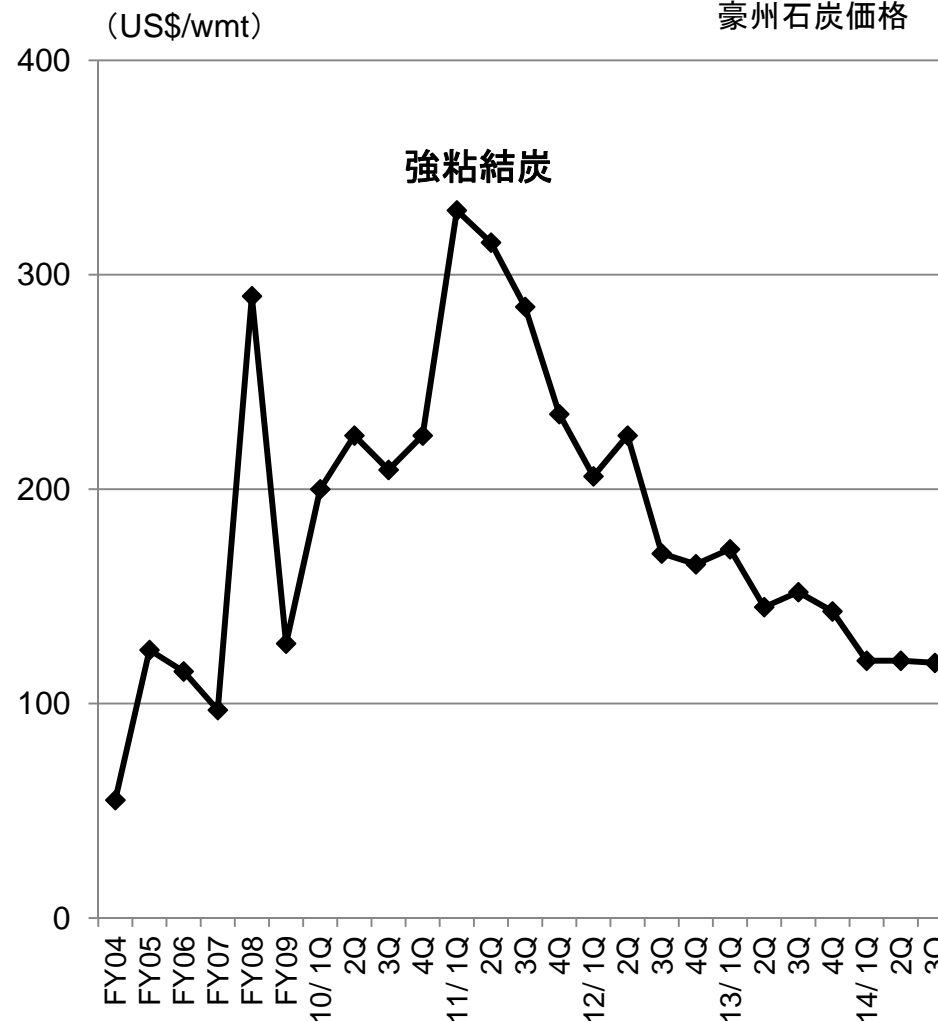
鉄鉱石

豪州鉄鉱石価格



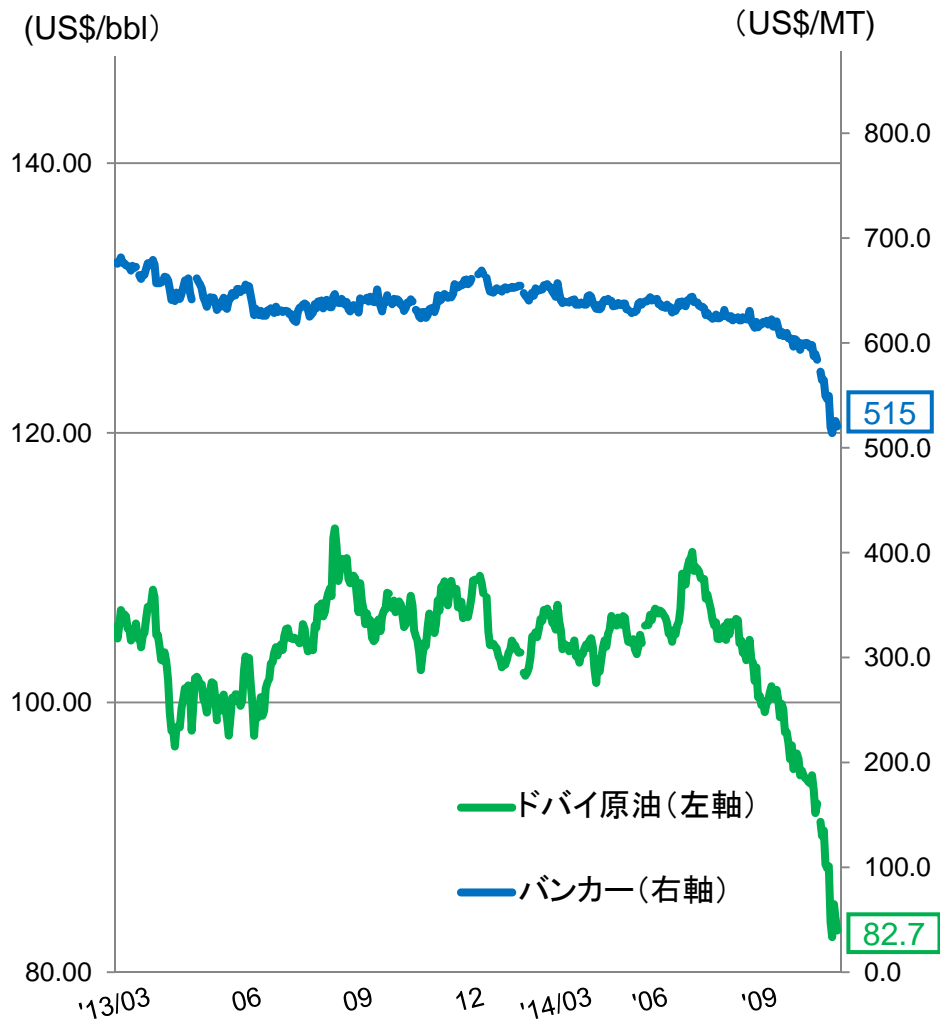
原料炭

豪州石炭価格

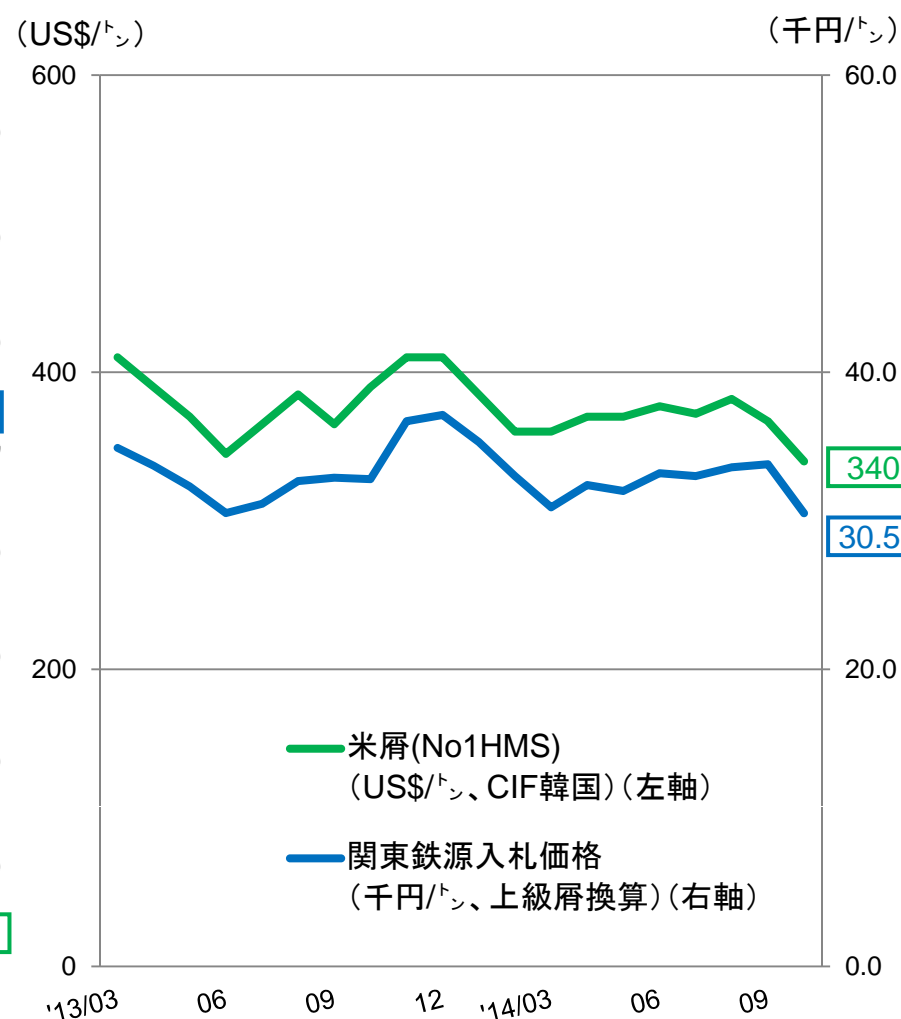


原料市況 <原油・スクラップ>

原油



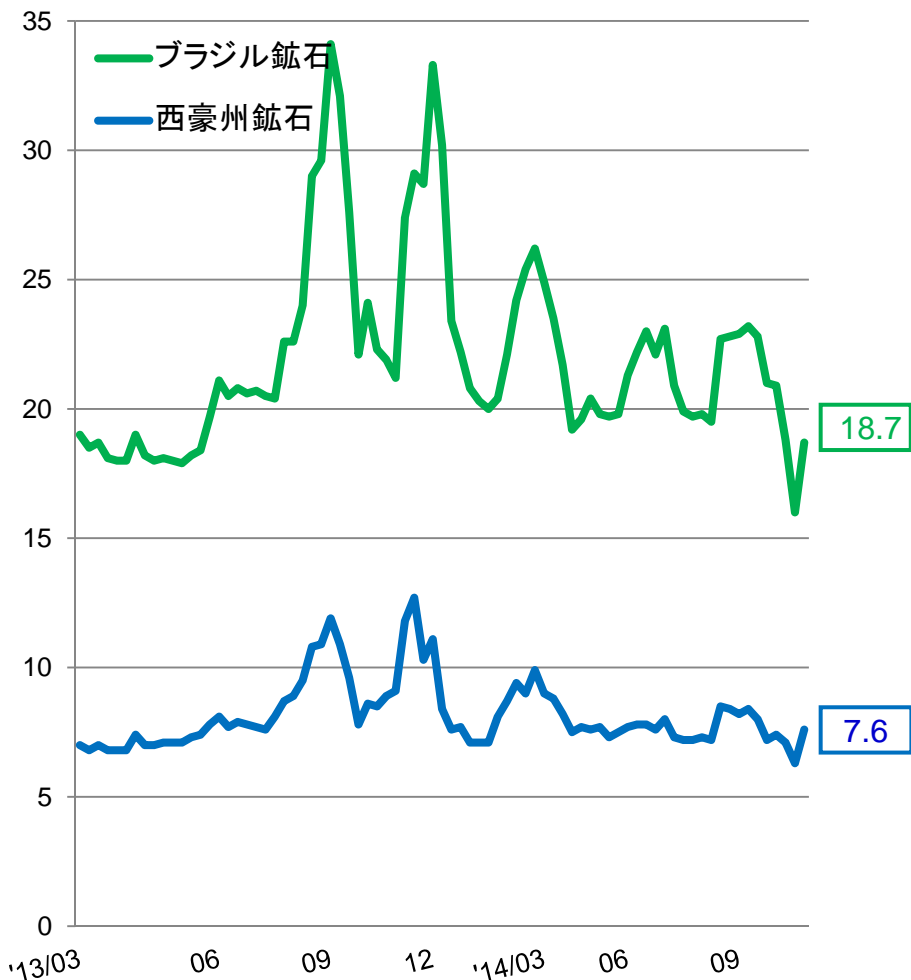
スクラップ



原料市況 <フレート・型鉄>

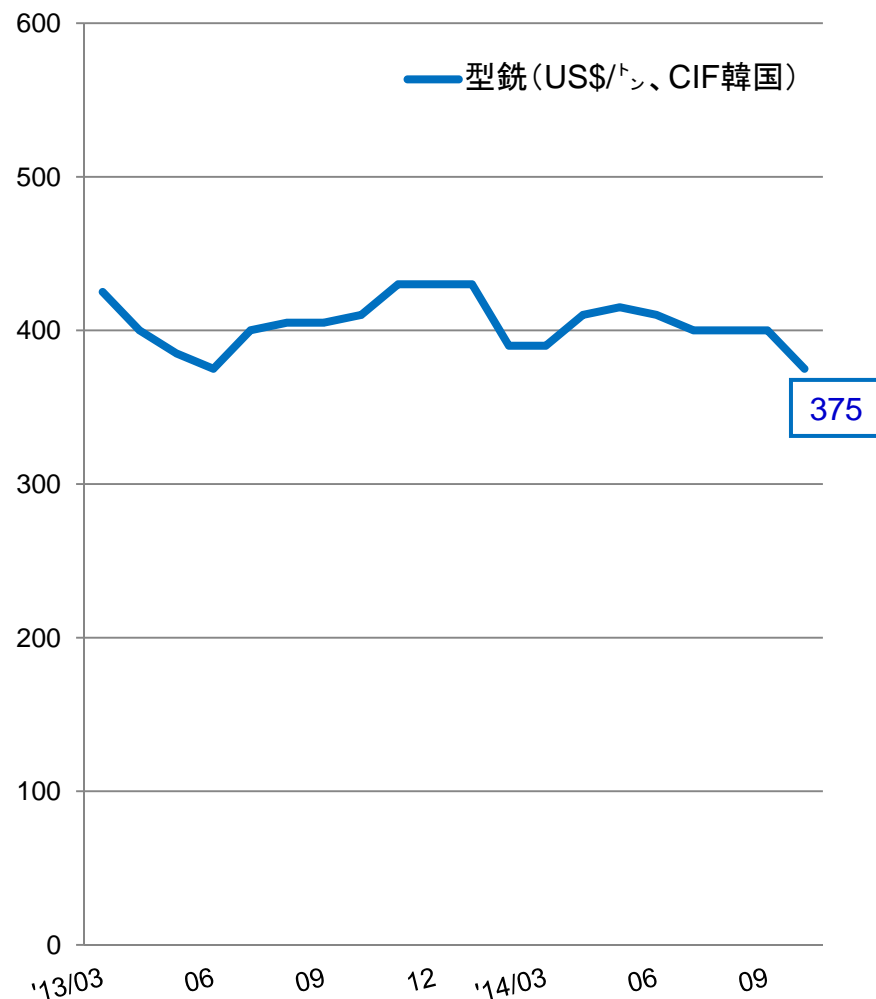
フレート

(US\$/WMT, ケープサイズ 170千t船型)

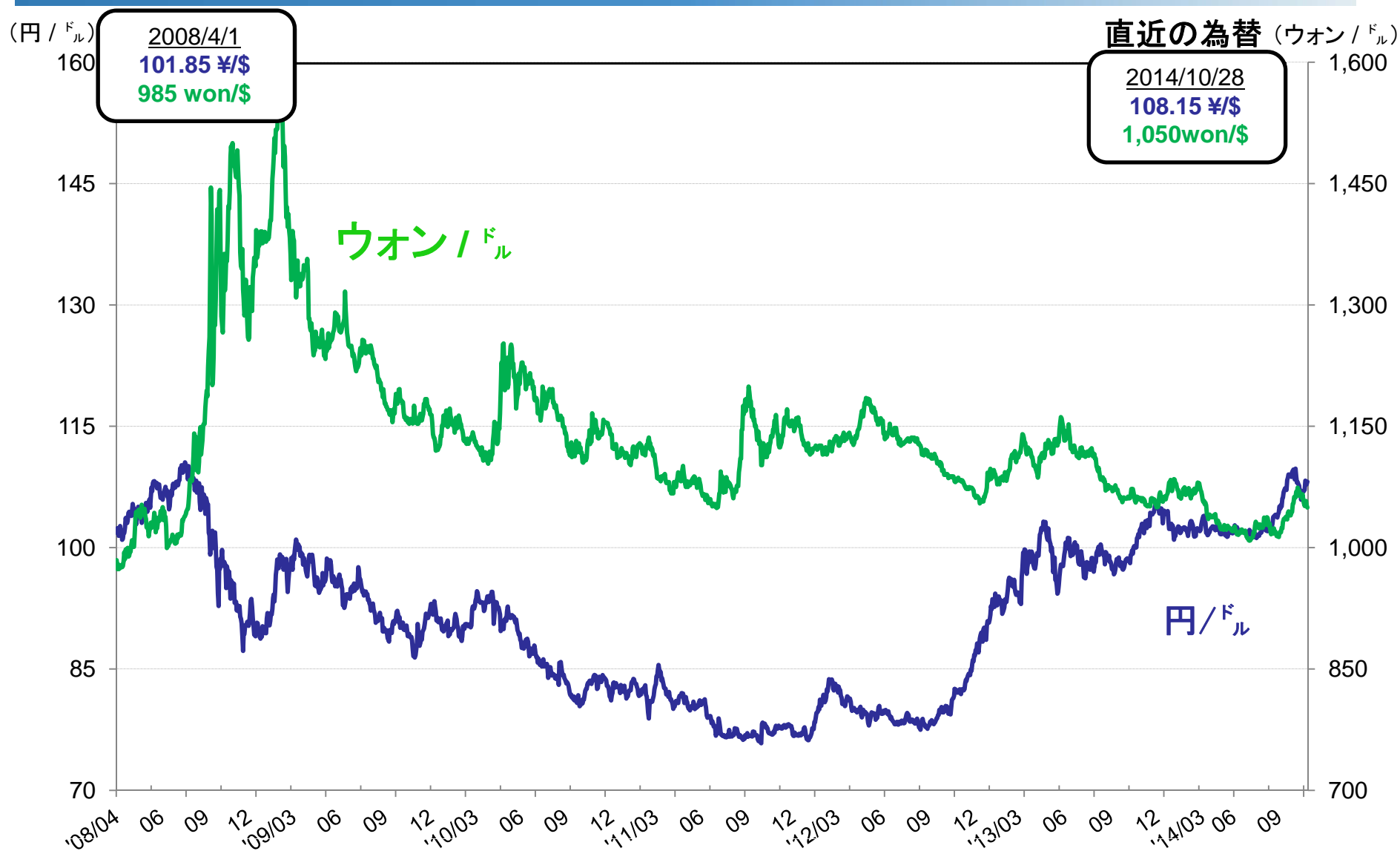


型鉄

(US\$/T, CIF 韓国)



為替推移 (円/ドル, ウォン/ドル)



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。